

あんぱい ええまち かわにし創生総合戦略
実施状況報告書
(平成30年度)
(案)

令和元年 月
川西市

目次

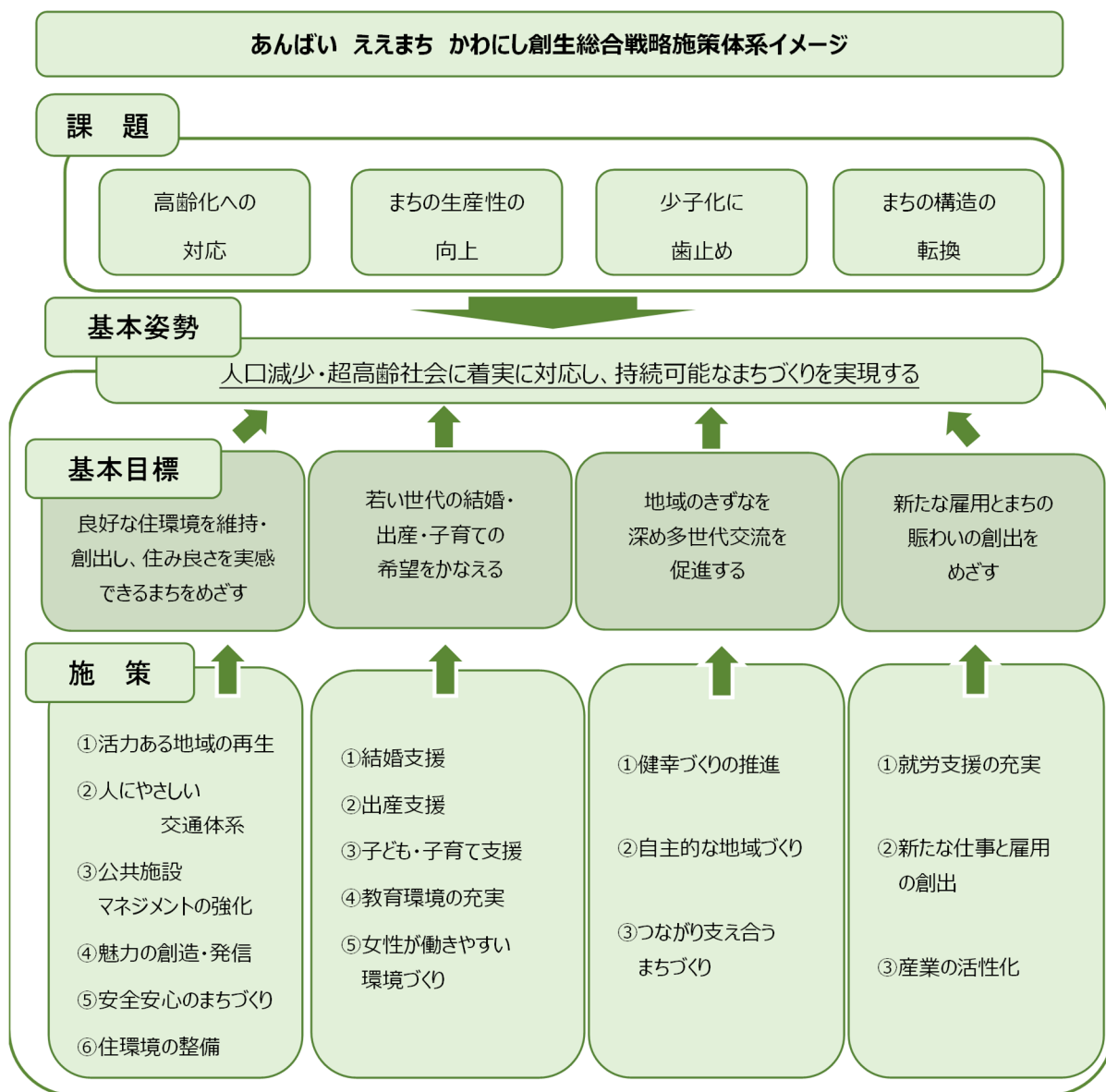
| | |
|---------------------------------------|----|
| はじめに | 1 |
| 1 「あんばい ええまち かわにし創生総合戦略」について | 1 |
| 2 実施状況報告書作成の趣旨 | 2 |
| 具体的施策の実施状況 | 5 |
| 1 基本目標1 良好な住環境を維持創出し、住み良さを実感できるまちをめざす | 6 |
| 活力ある地域の再生 | 7 |
| 人にやさしい交通体系 | 8 |
| 公共施設マネジメントの強化 | 9 |
| 魅力の創造・発信 | 10 |
| 安全安心のまちづくり | 12 |
| 住環境の整備 | 14 |
| 2 基本目標2 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる | 16 |
| 結婚支援 | 17 |
| 出産支援 | 18 |
| 子ども・子育て支援 | 19 |
| 教育環境の充実 | 21 |
| 女性が働きやすい環境づくり | 23 |
| 3 基本目標3 地域のきずなを深め多世代交流を促進する | 24 |
| 健幸づくりの推進 | 25 |
| 自主的な地域づくり | 26 |
| つながり支え合うまちづくり | 27 |
| 4 新たな雇用とまちの賑わいの創出をめざす | 28 |
| 就労支援の充実 | 29 |
| 新たな仕事と雇用の創出 | 30 |
| 産業の活性化 | 32 |

はじめに

1 「あんばい ええまち かわにし創生総合戦略」について

国では、急速な少子高齢化の進展に的確に対応し、日本全体、特に地方の人口の減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みやすい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくことが、喫緊の課題であるとして、まち・ひと・しごと創生に関する施策を総合的かつ計画的に実施することを目的に、「まち・ひと・しごと創生法」を制定、施行しました。

本市では、国の地方創生の動きに呼应し、平成28年3月に、「あんばい ええまち かわにし創生総合戦略」(以下「総合戦略」という。)を策定し、人口の転入・定住の促進、人口減少の抑制、まちの活性化における安定した地域づくり、安定した雇用の創出といった観点から、それぞれに対応する4つの基本目標を立て、その具体的な施策を展開しているところです。



2 実施状況報告書作成の趣旨

総合戦略に掲げた施策の着実な推進を図るためには、それぞれの施策の進捗状況について、成果や課題を分析し、必要な改善や見直しを図る必要があります（PDCAサイクルの構築）。

そこで、平成30年度の実施状況に係る進捗状況を明らかにするとともに、実施状況に対する効果検証を行った結果を取りまとめ、幅広く市民の皆さんと情報共有するため、実施状況報告書を作成しました。

凡 例

基本目標に掲げる内容のめざすべき方向性を記載しています。

| 基本目標1 | | 良好な住環境を維持・創出し、住み良さを実感できるまちをめざす | | | | | | |
|--|-----------------------|--------------------------------|----------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| <p><基本的方向性> 恵まれた都市環境と自然環境を内外にアピールし、市外からの転入の呼び込み、市内在住者の定住の促進（流出抑制）を図ります。</p> | | | | | | | | |
| 数値目標 | | | | | | | | |
| 指標 | 方向性 | 現状値 | 目標値 | 実績値 | | | | |
| | | (H26) | (H31) | H27 | H28 | H29 | H30 | |
| 数値目標 | 「居住地域に住み続けたい」と思う市民の割合 | ↗ | 76.3% | 77.0% | 73.6% | 74.6% | 72.2% | 74.5% |
| | 社会移動数転入・転出の均衡 | → | 48人 (H25) | 均衡状態 | △120人 | △53人 | △219人 | △265人 |
| 幸せ実感指標 | 「住み良いまちだ」と思う市民の割合 | ↗ | 85.2% (H27) | 86.2% | 85.2% | 83.4% | 80.7% | 85.4% |

実績値は、平成31年5月末時点で把握できている数値を記載しています。
 数値が未把握の場合は、「-」としています。

基本目標を達成するために必要な施策とその施策の具体的な展開について記載しています。

基本目標1 良好な住環境を維持・創出し、住み良さを実感できるまちをめざす

具体的な施策の取組状況

施策 1 活力ある地域の再生

＜具体的施策の展開＞

①団地再生に向けた地域の取組みを支援するため、「ふるさと団地再生の手引き」等を活用し、住民・地域団体・事業者・行政が連携できるようネットワークの構築を支援します。

②現制度を含めたより効果的な制度・手法を検討し、子育て世帯等の人口流出抑制・流入促進を図ります。

【平成30年度の主な取組内容及び成果】

上記＜具体的施策の展開＞にある記述の内、H30年度に取り組んだ内容を箇条書きで記載。

＜具体的施策の展開①＞

- 「ふるさと団地再生に向けた空き家対策の意見交換会」として、地域関係者、兵庫県、川西市の担当者が集まり、情報交換や意見交換を実施
- 空き家の流通促進を目的に、宅建協会やNPO法人と連携協定を締結し、「空き家対策ナビゲーター養成講座」を支援

＜具体的施策の展開②＞

- 転入・定住促進を図るため、H25年度から実施している親元近居助成制度を継続実施（助成件数：106件（内訳：市内65件、市外41件））また、新たに若年夫婦世帯を助成対象者に加えた制度改正を実施（改正による成果件数：11件）
- 子育て世帯を中心とした転入・定住を誘導する住宅施策として、「空き家活用リフォーム助成制度」を実施

| KPI | 方向性 | 現状値 (H26) | 目標値 (H31) | 実績値 | | | |
|----------|-----|--------------|----------------|-------|-------|-------|-------|
| | | | | H27 | H28 | H29 | H30 |
| 生産年齢人口比率 | → | 58.5% | 57.1% (H32) | 57.3% | 57.1% | 56.9% | 56.7% |

【今後の課題及び方向性】

【平成30年度の主な取組内容及び成果】の内容を受け、施策の今後の課題/方向性を総括として記載。

＜具体的施策の展開①＞

- 団地再生に向けた地域主体の取組みの実施
 - ➡団地再生に取り組む地域への支援のあり方について検討
- 空き家の流通促進に向けた共助の取組みの実施
 - ➡「空き家対策ナビゲーター」の活動を支援

＜具体的施策の展開②＞

- 若年世帯及び子育て世帯の転入・定住促進に係る住宅施策の構築
 - ➡「空き家活用リフォーム助成制度」の対象要件拡充および新規補助事業として「若年・子育て世帯向け賃貸住宅供給支援」を実施

具体的施策の展開にあたって、今後求められる課題と方向性を記載しています。

実績値は、平成31年5月末時点で把握できている数値を記載しています。数値が未把握の場合は、「-」としています。

具体的施策の展開に向けて、平成30年度に取り組んだ内容及び成果を記載しています。

具体的施策の実施状況

総合戦略に基づく、4つの基本目標における個々の施策単位での取組みと成果及び課題と今後の方向性をとりまとめ、総合戦略の平成30年度の実施状況として、次頁以降のとおり報告します。

基本目標1 良好な住環境を維持・創出し、住み良さを実感できるまちをめざす

< 基本的方向性 >

恵まれた都市環境と自然環境を内外にアピールし、市外からの転入の呼び込み、市内在住者の定住の促進（流出抑制）を図ります。

数値目標

| 指標 | 方向性 | 現状値 | 目標値 | 実績値 | | | |
|--------|----------------------|----------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | (H26) | (H31) | H27 | H28 | H29 | H30 |
| 数値目標 | 「居住地に住み続けたい」と思う市民の割合 | 76.3% | 77.0% | 73.6% | 74.6% | 72.2% | 74.5% |
| | 社会移動数転入・転出の均衡 | 48人 (H25) | 均衡状態 | 120人 | 53人 | 219人 | 265人 |
| 幸せ実感指標 | 「住み良いまちだ」と思う市民の割合 | 85.2% (H27) | 86.2% | 85.2% | 83.4% | 80.7% | 85.4% |

具体的な施策の取組状況

| | |
|------|---|
| 施策 1 | <p>活力ある地域の再生</p> <p><具体的施策の展開> 団地再生に向けた地域の取組みを支援するため、「ふるさと団地再生の手引き」等を活用し、住民・地域団体・事業者・行政が連携できるようネットワークの構築を支援します。 現制度を含めたより効果的な制度・手法を検討し、子育て世帯等の人口流出抑制・流入促進を図ります。</p> |
|------|---|

[平成30年度の主な取組内容及び成果]

<具体的施策の展開 >

「ふるさと団地再生に向けた空き家対策の意見交換会」として、地域関係者、兵庫県、川西市の担当者が集まり、情報交換や意見交換を実施

○空き家の流通促進を目的に、宅建協会やNPO法人と連携協定を締結し、「空き家対策ナビゲーター養成講座」を支援

<具体的施策の展開 >

転入・定住促進を図るため、H25年度から実施している親元近居助成制度を継続実施(助成件数:106件(内訳:市内65件、市外41件))また、新たに若年夫婦世帯を助成対象者に加えた制度改正を実施(改正による成果件数:11件)

子育て世帯を中心とした転入・定住を誘導する住宅施策として、「空き家活用リフォーム助成制度」を実施

| KPI | 方向性 | 現状値 | 目標値 | 実績値 | | | |
|----------|-----|-------|----------------|-------|-------|-------|-------|
| | | (H26) | (H31) | H27 | H28 | H29 | H30 |
| 生産年齢人口比率 | | 58.5% | 57.1% (H32) | 57.3% | 57.1% | 56.9% | 56.7% |

[今後の課題及び方向性]

<具体的施策の展開 >

団地再生に向けた地域主体の取組みの実施
 団地再生に取り組む地域への支援のあり方について検討

空き家の流通促進に向けた共助の取組みの実施
 「空き家対策ナビゲーター」の活動を支援

<具体的施策の展開 >

若年世帯及び子育て世帯の転入・定住促進に係る住宅施策の構築
 「空き家活用リフォーム助成制度」の対象要件拡充および新規補助事業として「若年・子育て世帯向け賃貸住宅供給支援」を実施

具体的な施策の取組状況

施策 2 人にやさしい交通体系
 <具体的施策の展開>
 高齢者や子育て世帯などが気軽に移動できるよう、基幹公共交通の充実のほか、地域内公共交通の確立、高齢者への公共交通利用促進支援などに取り組みます。
 移動手段としても有効で、かつ健康増進にもつながる自転車の利活用を促進する取組みを推進します。

【平成30年度の主な取組内容及び成果】

- <具体的施策の展開 >
 環境に配慮した交通行動の推進を目的として、市内小学校でMM教育を実施(小学校11校、延べ17回開催)
- 次世代型オンデマンドモビリティサービスの実証実験に向けて、各関係者を交えた勉強会の開催
- 川西市公共交通基本計画の見直しの検討
- 持続可能な地域内公共交通についての検討のため、コミュニティにおいて協議会を開催(2コミュニティのうち、1コミュニティはお買い物タクシー実証実験を実施)
- (仮)交通ネットワーク計画の作成に向けた調査・検討
- <具体的施策の展開 >
 ○自転車通行位置の明示(車道混在L=240m)
- 阪神北県民局管内の自治体連携によるサイクルマップの改訂及びサイクルイベントの開催、サイクルラックの設置を支援

| KPI | 方向性 | 現状値 | 目標値 | 実績値 | | | |
|------------------------------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | (H26) | (H31) | H27 | H28 | H29 | H30 |
| 主に鉄道やバスなどの公共交通機関を利用している市民の割合 | | 52.0% | 56.0% | 59.3% | 52.4% | 53.5% | 52.3% |

【今後の課題及び方向性】

- <具体的施策の展開 >
 公共交通によるまちづくりの推進に向けた市民等への交通まちづくり学習の充実
 市内小学校でのMM教育の継続的实施
- 次世代型移動サービスの川西モデルの構築
 オンデマンドモビリティサービスの実証実験及び情報技術を活用した新たな移動サービスの検討
- 指標目標達成に向けた取組みの実施
 川西市公共交通基本計画の見直しの検討
- <具体的施策の展開 >
 ○川西市自転車ネットワーク計画に基づく計画的な自転車ネットワーク路線の整備検討
- 自転車を活用した観光まちづくりの具体的な取組みの展開
 阪神北県民局及び近隣自治体、民間事業者との連携を図りながら、サイクルマップを活用したイベントの開催を支援

具体的な施策の取組状況

施策 3 公共施設マネジメントの強化
 <具体的施策の展開>
 ・公共施設の現状及び将来見通しを把握した上で、長期的な視点をもって更新・統廃合・長寿命化などを行うことにより、公共施設の最適な配置をめざし、良好な住環境の整備を推進します。

【平成30年度の主な取組内容及び成果】

○学校施設の詳細な取組方針と今後のスケジュール等を示す「(仮称)川西市学校施設長寿命化計画」の策定に向けて、学校施設の劣化状況調査を実施

| KPI | 方向性 | 現状値 | 目標値 | 実績値 | | | |
|-----------|-----|-------------------|----------|----------|----------|----------|-----|
| | | (H26) | (H31) | H27 | H28 | H29 | H30 |
| 公共施設の延床面積 | | 358,356㎡ (H27) | 356,000㎡ | 372,896㎡ | 358,153㎡ | 355,966㎡ | - |

【今後の課題及び方向性】

総合管理計画を踏まえた学校施設の詳細な取組方針等の決定
 「(仮称)川西市学校施設長寿命化計画」の策定

具体的な施策の取組状況

| | |
|-------|---|
| 施 策 4 | <p>魅力の創造・発信</p> <p><具体的施策の展開> 加茂遺跡、清和源氏の発祥の地、日本一の里山など様々な地域資源・観光資源を活用し、交流人口の増加を図ります。 あんばい ええまち かわにしプロジェクトの推進によるシティプロモーション(市の魅力を積極的に発信する取組)を展開し、本市の魅力の認知度の向上を図ります。 新たな交通の玄関口となる新名神高速道路川西インターチェンジを活用し、新たな市の魅力の創造・発信への展開を図ります。</p> |
|-------|---|

[平成30年度の主な取組内容及び成果]

<具体的施策の展開 >

清和源氏発祥の地川西をPRするため、源氏まつりを開催(観客数:約32,000人)

きらっと 阪神北オータムフェスタなど、各種イベントにおいて観光や特産品のPR活動を実施

○黒川ダリヤ園の維持・管理を実施

黒川まちづくり支援について、黒川地区等の観光マップ「秋里」(発行部数:25,000部)、「春里」(発行部数:25,000部)を発行したほか、大学と地域が連携した取組みを展開

黒川地域外のプレーヤーによるまちづくりの検討(井筒塾の開催:5回、延べ141人参加)

市内の市指定文化財(天然記念物)3か所に解説看板を設置

平野鉱泉工場跡旧御料品製造所(アサヒ飲料株式会社 三ツ矢記念館)及び旧源泉地施設を川西市登録文化遺産第1号に登録

「のせでんアートライン2019」の開催に向けた準備

「川西まちなか美術館」の開催支援(観覧者数:約21,000人)

<具体的施策の展開 >

市民参加型フェイスブックによる情報発信(フォロワー数:約1,100人)

観光デジタルガイドブック「裏かわにしさんぽ」の発行(発行回数:1回)

市公式インスタグラム「かわにしさんぽ」の開設(フォロワー数:約1,500人、投稿数:43件)

FM放送を活用したPRの実施(FMCoCoLo 20分番組:9回、FM802:20秒CM126本)

<具体的施策の展開 >

魅力発信拠点の整備に向け、土地所有者や民間事業者と調整

| KPI | 方向性 | 現状値 | 目標値 | 実績値 | | | |
|--------------------------|-----|---------|----------|----------|----------|----------|---------|
| | | (H26) | (H31) | H27 | H28 | H29 | H30 |
| 観光客入込数 | | 2,092千人 | 2,315千人 | 2,203千人 | 2,249千人 | 2,435千人 | 2,304千人 |
| 市公式シティプロモーションサイトへのアクセス件数 | | 20,208件 | 142,700件 | 147,538件 | 135,413件 | 128,084件 | 67,185件 |

[今後の課題及び方向性]

<具体的施策の展開 >

様々な地域資源、観光資源を活用した観光まちづくりの具体的推進
まちの魅力向上プロジェクトにて、ダリヤ園のあり方を検討
黒川地区における地域住民や地域外のプレーヤーの活動を支援
郷土館(旧平安家住宅)を今後も適切に維持管理していくための調査設計を実施

まちの賑わいの創出に向けたイベント等への支援の充実
のせでんアートラインやまちなか美術館などのイベントとの連動による効果的なシティプロモーションの展開
定着しつつある「川西まちなか美術館」のイベント開催に加え、新たなアートイベントの開催を支援することにより、まちなかへの回遊を通じてまちの魅力を発信

<具体的施策の展開 >

本市の魅力の認知度の向上に加え、交流・定住人口の増加につなげる地域・イベント誘導型のシティプロモーションの展開
HPやSNSなどのチャネルを用い、日本一の里山「黒川」をはじめとする観光資源等をPRするシティプロモーションの展開

<具体的施策の展開 >

まちの賑わいの創出につながる土地利用に向けた調整
所有者の意向や開発条件等を踏まえ、最適な土地利用の検討

具体的な施策の取組状況

| | |
|-------|---|
| 施 策 5 | <p>安全安心のまちづくり</p> <p><具体的施策の展開> 高齢者、障がい者、要介護者など、全ての市民が安全で安心に暮らせるまちづくりを推進します。 防災行政無線及び防災機能を備えた公園施設等の整備、耐震改修への助成、消防力の強化などを通じて、災害に強いまちづくりを推進します。 防犯カメラの設置により防犯力の強化を図るなど、生活安全の充実を推進します。 防災・防犯の啓発を積極的に展開するとともに、地域における防災・防犯への取組みを支援し、安全・安心のまちづくりを推進します。</p> |
|-------|---|

【平成30年度の主な取組内容及び成果】

<具体的施策の展開 >

○在宅医療・介護連携支援センターと地域包括支援センターの連携

○在宅医療・介護連携支援センターの相談件数53件(川西市・猪名川町・他市含む)

○つながりノートの改訂(ACPに関する内容を追加)

○地域包括型認知症ケアネットの作成

○各福祉避難所に応じたマニュアルを作成できるよう、既存の福祉避難所開設・運営マニュアルを改正し、手引きとなる改訂版を作成。手引きをもとに、市の施設で指定管理を行っている社会福祉協議会と連携し市の施設でのマニュアルの作成に着手

<具体的施策の展開 >

災害時に適切な避難行動を行えるよう、防災行政無線情報をケーブルテレビ網を通じて発信を行うとともに国との連携放送やイベント、出前講座等で防災マップなどを使った啓発を行い、情報伝達手段について周知

防災機能を備えた公園施設の整備を実施(2公園)

○住宅及び多数利用建築物の耐震化の促進に向けた補助事業を実施するとともに、市民への意識啓発を実施。また、大阪北部地震を受けて、道に面した危険ブロック塀等の撤去支援事業を実施

○増隊した救急隊による市域全体の需要対策を実施

○近隣消防本部との連携・協力について、実施計画を作成

<具体的施策の展開 >

子どもの安全確保及び犯罪の未然防止を目的として、各小学校区の通学路等に設置した防犯カメラについて、「防犯カメラ設置及び管理運用に関する要綱」に基づく適切な管理運用

○生活安全推進連絡協議会を通じて、希望するコミュニティに対し、防犯カメラの設置を明示する告示幕を配付し電柱等に貼付していただいたことによる防犯カメラの設置効果向上(6コミュニティ、合計87箇所貼付)

<具体的施策の展開 >

出前講座やイベント、地域の防災訓練などで浸水害や土砂災害の注意すべき地域や避難所の場所、災害に関する知識、備蓄や家具の固定などの備えについて啓発を実施(講師派遣等回数:65回)

各地域における生活安全上の課題について協議する場として、生活安全推進連絡協議会を開催し、地域や関係団体と行政の連携体制の強化

防犯カメラ設置事業補助金の交付などにより、地域の安全確保に向けた取組みの支援を実施(補助金交付件数:2件)

| KPI | 方向性 | 現状値 | 目標値 | 実績値 | | | |
|---|-----|----------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | (H26) | (H31) | H27 | H28 | H29 | H30 |
| 「地域で高齢者や障がい者・児童等を見守り、支援する仕組みができている」と思う市民の割合 | | 28.5% (H29) | 33.1% | - | - | 28.5% | 32.5% |
| 「災害に強いまちだ」と思う市民の割合 | | 25.3% | 30.2% | 25.6% | 22.6% | 29.0% | 28.6% |
| 地震や火災などの災害に対する備えができている市民の割合 | | 34.0% | 38.4% | 32.1% | 29.8% | 29.4% | 45.1% |
| 人口一人あたりの犯罪発生率 | | 0.89% | 0.79% | 0.82% | 0.87% | 0.81% | 0.72% |

【今後の課題及び方向性】

<具体的施策の展開 >

○入退院支援ルールの普及

在宅医療・介護連携推進協議会勉強会を開催し普及促進

○ACPの考え方の普及

改訂版つながりノートの普及促進、つながりノート連絡会での啓発

○認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる社会の実現

ケアネットの普及による認知症への理解の促進と地域の支援体制の構築

福祉避難所運営マニュアル(指針)の作成

福祉避難所となる市の施設における開設・運営マニュアルを作成し、開設訓練などを通じて見直ししながら、他の施設でのマニュアル作りにつなげていく。

全地域において災害時に備えた避難行動要支援者の個別支援計画の作成

未作成地区において、兵庫県のモデル事業などを活用し、防災部局と連携を取りながら計画作成に取り組んでいく。

<具体的施策の展開 >

災害に強いまちづくりの推進に向けた体制の強化

迅速な避難行動に繋げるため、情報伝達手段の多重化を推進

防災機能を備えた公園の整備の促進

耐震改修促進事業の推進及び市民への意識啓発の継続的实施

市域環境の変化を考慮し、救急体制のさらなる工夫を含めた消防環境の充実を継続検討

消防の連携・協力に係る実施計画項目を実施し、さらなる内容について拡張させるよう継続的に検討協議

<具体的施策の展開 >

防犯カメラの適切な管理運用

「防犯カメラ設置及び管理運用に関する要綱」に基づく適切な管理運用

<具体的施策の展開 >

地域における防災・防犯に対する意識の高揚及び取組みの充実

出前講座や防災訓練等、自主防災組織の活性化への支援

生活安全推進連絡協議会における情報交換や防犯カメラ設置事業補助金交付の継続

地域の自主的な防犯活動に対する支援の継続により、「地域の安全は地域で守る」という意識の醸成

具体的な施策の取組状況

| | |
|-------|--|
| 施 策 6 | <p>住環境の整備</p> <p><具体的施策の展開> 道路、交通安全施設、公園、上下水道の環境整備など、安全安心で、かつ良好な住環境に向けた取組みを推進します。 ごみの減量化や資源化の推進を図るなど、環境の保全や快適な生活空間の創出への取組みを推進します。 低炭素のまちづくりを推進し、良好な住環境の創出によるまちの魅力の創造に取組みます。</p> |
|-------|--|

[平成30年度の主な取組内容及び成果]

<具体的施策の展開 >

- 橋りょうの長寿命化計画に沿った補修詳細設計業務の実施(8橋)
- 橋りょうの長寿命化計画の基礎となる道路橋定期点検の実施(7橋)
- 横断歩道橋・大型カルバート定期点検の実施(10橋)
- 交通の円滑化及び歩行者等の安全性の向上を図るため、都市計画道路の整備を促進(L=40m)
- 新規に設置する街路灯に関してLEDの設置を実施(66基)
- 公園において遊具やフェンスの改良・更新を実施(24公園)
- 鉛給水管改良事業を計画的に実施(1,675件)
- 地震等の災害に備えるため、配水池の耐震調査を実施するとともに、基幹管路及び基幹施設の耐震化工事を実施(調査:1池、工事:基幹管路L=約640m、配水池2池施工中(平成30・31年度継続事業))
- 快適で衛生的な生活環境を図るために、下水道の管渠整備を実施(4地区L=643m)
- 雨水浸水防除及び公共用水域の水質保全のため、管渠整備や雨水ポンプ場の安定的な運転管理を維持するためにエンジン等の設備の更新を実施
- 家庭向けに雨水貯留タンクの設置助成を実施(助成件数:36件)

<具体的施策の展開 >

- ・ごみ減量化の啓発を図るため、
- ・出前講座や学習会の開催(開催回数:21回 参加者数:1,546人)
- ・啓発パネル展示会を開催(開催期間:30日間)
- ・啓発紙の発行(年2回発行)

○環境保全や快適な生活空間の創出のため、路上喫煙・ポイ捨て防止モデル区域において実態調査を行った。また、市民団体とともにモデル地区において、啓発ティッシュの配布等の啓発活動を実施(参加団体:8団体、参加者数52人)。広報誌やイベント等におけるブース設置等機会をとらえた広報活動を展開。

<具体的施策の展開 >

○キセラ川西地区内において、低炭素化の達成状況について、実績を評価するため、エネルギーモニタリングを実施し、誘導により一次エネルギー消費量の削減率は、まち全体で2.0%の削減を達成

○キセラ川西せせらぎ公園での自然学習、エネルギー、防災面の取組みを市民に紹介するガイド(公園探検ツアー)を実施(1回)

○夏休みに小学生の親子を対象に実験とクイズを交えた体験学習を実施(1回)
家庭でのエコ活動につながる機会を提供

○美化推進課が主催する、子どもたちに「環境」について考える体験型イベント:キッズ「り・ぼ・ん」のワークショップに出展し、キセラ川西の名称・位置等の説明と手回し発電機による発電実験を実施(1回)
キセラ川西のエコなまちづくり並びに電気エネルギーへの気付きの機会を提供

○良好な住環境の創出によるまちの魅力の創造の取り組みとして、市内において里山整備や身近な自然環境の保全活動をしている団体によるシンポジウムを開催し、日ごろの活動内容や活動における課題などを参加者と共有(参加団体:22団体、参加者数:160人)

| KPI | 方向性 | 現状値 | 目標値 | 実績値 | | | |
|--------------------------|-----|----------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | (H26) | (H31) | H27 | H28 | H29 | H30 |
| 「生活道路が安心して通行できる」と思う市民の割合 | | 58.2% | 62.1% | 57.9% | 59.1% | 57.9% | 58.1% |
| 公園を満足して利用している市民の割合 | | 10.9% | 16.1% | 14.3% | 13.1% | 12.3% | 16.0% |
| 環境に配慮した行動を心がけている市民の割合 | | 86.2% (H29) | 89.0% | - | - | 89.0% | 87.2% |
| ごみ収集・処分に対する満足度 | | 68.2% (H29) | 79.7% | - | - | 68.2% | 71.1% |

[今後の課題及び方向性]

<具体的施策の展開 >

- 安全安心、かつ良好な住環境に向けた計画的・継続的な取組みの実施
- 橋りょう長寿命化に沿った修繕工事(設計)の実施
- 計画的な歩道切下げ工事の実施
- 長寿命化計画に基づく公園遊具の改良・更新の継続的実施
- 水道事業による安心安全な水の供給
- 下水道事業による公衆衛生の向上及び効率的な施設管理

<具体的施策の展開 >

- ごみ減量化や環境保全に関する意識のさらなる醸成
- 啓発事業や市民、団体等の活動状況など広く市民への周知に向けた広報活動の展開

<具体的施策の展開 >

- キセラ川西地区内における、低炭素のまちづくりの啓発活動
市民及び事業者の協力を得るため、低炭素化への取組みを広く周知
- 自然環境との調和による良好な住環境の維持・創出
引き続きシンポジウムを開催するなど、自然活動団体の支援を実施

| | |
|-------|------------------------|
| 基本目標2 | 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる |
|-------|------------------------|

< 基本的方向性 >

出会いから結婚・出産・子育てまで切れ目のないきめ細やかな支援を行うことで、自然動態における人口減少に歯止めをかけることをめざします。

数値目標

| 指標 | 方向性 | 現状値 | 目標値 | 実績値 | | | |
|--------|------------------------|----------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | | (H26) | (H31) | H27 | H28 | H29 | H30 |
| 数値目標 | 「子育てがしやすいまちだ」と思う市民の割合 | 51.5% | 58.0% | 52.6% | 49.6% | 52.6% | 53.2% |
| | 市内出生数（住民基本台帳登録者数） | 1,172人 | 1,000人 | 1,086人 | 1,048人 | 966人 | 974人 |
| 幸せ実感指標 | 子育てに喜びや生きがいを感じている市民の割合 | 89.2% (H27) | 95.0% | 89.2% | 91.6% | 90.4% | 91.5% |

具体的な施策の取組状況

施策 1 結婚支援
 <具体的施策の展開>
 ・出会いや結婚を支援するなど、結婚しやすい環境づくりを進めます。

【平成30年度の主な取組内容及び成果】

結婚新生活支援助成制度により、若い新婚世帯の結婚新生活を支援(助成件数:26件)
 若者同士の出会いの場づくりを支援するため、婚活イベントなどの情報をホームページに掲載

| KPI | 方向性 | 現状値 | 目標値 | 実績値 | | | |
|--------------|-----|---------------------------------------|---------------------------------------|-----|-----|-----|-----|
| | | (H26) | (H31) | H27 | H28 | H29 | H30 |
| 20～29歳男女の未婚率 | | 男性： 83.8% 女性： 78.7% (H22) | 男性： 83.0% 女性： 78.0% (H32) | - | - | - | - |

【今後の課題及び方向性】

<具体的施策の展開>
 ○制度の周知
 不動産関係事業者との連携による幅広い周知の実施
 情報提供の充実
 地域での婚活イベント情報の提供など、WEBを活用した情報の発信

具体的な施策の取組状況

施策 2 出産支援
 <具体的施策の展開>
 ・母子健康手帳交付時に保健師等が面談を行うなど、妊娠期から子育て期にわたる継続的な支援を充実させることで、妊娠及び出産後の母子の不安を解消し、心身の健康を寄り添いながら支援します。

【平成30年度の主な取組内容及び成果】

○母子健康手帳・妊婦健康診査申請時、保健師が面接を実施し、不安や心配に寄り添い、必要な方に支援を継続(母子健康手帳交付:925件、妊婦健診費助成申請数:965件)

子育てに関する情報提供や養育環境の把握のため、こんにちは赤ちゃん訪問を実施(訪問件数:839件)

| KPI | 方向性 | 現状値 | 目標値 | 実績値 | | | |
|------------------------------------|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | (H26) | (H31) | H27 | H28 | H29 | H30 |
| 妊娠から出産及び産後の保健・医療サービスについて満足している親の割合 | | 74.0% | 86.6% | 78.0% | 86.1% | 81.1% | 84.3% |
| 妊娠健康診査助成者数 | | 1,248人 | 1,100人 | 1,182人 | 1,155人 | 1,092人 | 1,011人 |

【今後の課題及び方向性】

妊娠及び出産後の母子の不安や心配に寄り添う必要な支援の安定的・継続的な実施
 妊婦健康診査費助成事業の実施
 制度の周知による申請率、訪問率の向上

具体的な施策の取組状況

| | |
|-------|--|
| 施 策 3 | 子ども・子育て支援 <具体的施策の展開> 子育て用品購入助成制度の創設や小学3年生までの通院医療費の無料化などにより、子育て世帯の経済的負担の軽減を図ります。 病後児保育を実施し、保護者の仕事と子育ての両立を支援するなど、就学前教育、保育環境の充実を図ります。 子育てに係る情報提供や子育て家庭の状況に応じた支援サービスを提供するなど、子育てしやすい環境の整備を図ります。 |
|-------|--|

【平成30年度の主な取組内容及び成果】

<具体的施策の展開 >

○子育て世帯の経済的負担を軽減するため、通院医療費は小学3年生まで、入院費は中学3年生まで無料を実施

小学4年生から中学3年生までの通院医療費の自己負担割合が1割負担となるよう助成を実施

○年収約360万円未満の多子世帯、ひとり親世帯等の保育料軽減拡充

<具体的施策の展開 >

○施設周知のため、おひさまルームの施設のPRをかわにし子育てフェスティバルにて実施し、多くの登録者を確保(登録者:164人、利用者:149人)

保育施設の増改築や、小規模保育施設整備などにより、就学前教育・保育の提供体制を充実(保育定員増62人)

<具体的施策の展開 >

川西市公園施設長寿命化計画に基づき、遊具の更新を実施(23公園で34基)

子育て世代包括支援センターの実施事業及び体制の決定、必要な予算の確保

市内8か所で地域子育て支援拠点を開設し、親子交流の機会や子育て情報の提供等を実施(延べ来所者数61,707人)

| KPI | 方向性 | 現状値 | 目標値 | 実績値 | | | |
|------------------------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | (H26) | (H31) | H27 | H28 | H29 | H30 |
| 「子育て支援が充実している」と思う市民の割合 | | 29.7% | 39.0% | 33.6% | 28.0% | 32.7% | 31.4% |
| 保育所の入所待機児童数 | | 31人 | 0人 | 58人 | 32人 | 39人 | 36人 |

[今後の課題及び方向性]

<具体的施策の展開 >

妊娠を望む人や子育て世帯の経済的負担に対する的確なニーズ把握及び効果的施策の選択
制度の安定的な継続や子育て施策全体の中での位置づけを勘案し、引き続き実施内容を検討

<具体的施策の展開 >

○引き続き、病児・病後児保育の利用促進に向けて、施設周知のPRを行う。

増加する保育ニーズへの対応

保育施設の新設などによる対応方を検討

<具体的施策の展開 >

○子育てしやすい環境(施設)のさらなる充実

地元のニーズを反映させた、幅広い世代が憩える公園の整備の推進

○子育てしやすい環境(支援制度・体制)のさらなる充実

切れ目のない子育て支援の実現に向け、子育て世代包括支援センターとしての事業展開及び関係機関との連携強化

具体的な施策の取組状況

施策 4 教育環境の充実
 <具体的施策の展開>
 ・「きんたくん学びの道場」、「里山体験学習」、ICTを活用した授業の実施など、川西の特徴を活かした学習環境の整備を図り、学校教育の充実を進めます。

【平成30年度の主な取組内容及び成果】

- センター方式による中学校給食実施に向けて、PFI導入可能性調査を実施
 市内全小学校4年生が、黒川地区において里山体験学習を実施(参加者数:1,434人)
- 里山について教員の理解を深めるための研修を現地で実施
 家庭学習の習慣化を図るため、全小学校に学習支援員を配置し、「きんたくん学びの道場」を実施(参加者数:延べ531人)
- 部活動の在り方に関する方針に基づき、部活動運営の充実と教員の勤務時間の適正化を図るため、部活動指導員を配置
- 児童生徒の英語力向上を図るため、ALT(外国語指導助手)などの配置を拡充
- スクールソーシャルワーカーを全中学校区に配置し、各学校の不登校児童生徒や問題行動等の課題を抱える児童生徒に関する関係機関等からの情報収集や生活面での支援の実施(対象小中学校8校、支援児童生徒108人、学校訪問414回、家庭訪問等61回、ケース会議等55回)
 子どもの人権オンブズパーソンにおいて、子どもをめぐる人権問題に対する相談・調査及び広報啓発を実施(年間相談・調整回数:638回、提言:1回)
- 校務支援システムの活用推進のために、成績処理研修を実施。(中学校7校中5校、2校はH29年度に実施済)

| KPI | 方向性 | 現状値 | 目標値 | 実績値 | | | |
|-------------------------------|-----|---|--------------------------------|--------------------------------|-------|--------------------------------|-------|
| | | (H26) | (H31) | H27 | H28 | H29 | H30 |
| 「学校に行くことが楽しい」と思う子どもの割合 | | 小学生: 84.0% 中学生: 80.0% (H25) | 小学生: 87.0% 中学生: 85.0% | 小学生: 85.0% 中学生: 85.0% | - | 小学生: 85.0% 中学生: 82.0% | - |
| 満足いく教育を受けられる環境が整っていると感じる市民の割合 | | 74.8% (H27) | 80.0% | 74.8% | 58.0% | 52.5% | 61.5% |

[今後の課題及び方向性]

- 本市の特色を生かした授業の実施や相談体制の構築による学校教育の環境の充実
 - スクールソーシャルワーカーの配置拡充の検討
 - センター方式による中学校給食実施に向けた準備
 - 特色ある里山体験学習の継続実施に向けた人材育成

- 学校教育の環境の充実
 - ALT(外国語指導助手)などの配置の拡充
 - 学校図書館の整備の推進・充実
 - プログラミング教育の本格実施に向けて、教職員研修を実施
 - 情報セキュリティを高めるために、LAN整備を実施(小学校・特別支援学校)
 - タブレット型PCを用いた学習効果を高める方法を検討

具体的な施策の取組状況

| | |
|------|---|
| 施策 5 | 女性が働きやすい環境づくり <具体的施策の展開> 子育て中の女性が、仕事と育児の両立ができる環境をつくるため、放課後のこどもの居場所の充実や病児・病後児保育の実施、家に居ながらも仕事ができるテレワークのマッチング事業を展開します。 女性の生き方や働き方などを体系的に学ぶ機会を提供する(仮称)男女共同参画カレッジなど、女性の新たなライフスタイルの確立を支援します。 |
|------|---|

[平成30年度の主な取組内容及び成果]

<具体的施策の展開 >
 多様な形での就労を支援するため、様々な形態のセミナーを実施
 ・入門セミナー(参加者数:36名)...先輩ワーカーによるパネルディスカッション、在宅ワーク体験
 ・実践講座STEP1(参加者数:45名)...在宅ワークの基本に関する動画配信
 ・実践講座STEP2(参加者数:26名)...サテライト講座・オンラインサポート

ファミリーサポートセンター事業を川西市社会福祉協議会に委託し、実施(会員数:1,148人)

親が就労等で昼間家庭にいない児童に対し、留守家庭児童育成クラブで放課後の生活の場を提供

公立の留守家庭児童育成クラブを1クラブ増設

公立の留守家庭児童育成クラブについて、利用登録の上限を施設基準を満たす範囲で増員

○放課後子ども教室を全16小学校区で実施し、放課後の児童の居場所を提供

<具体的施策の展開 >
 女性の新たなライフスタイルの確立を支援するため、男女共同参画カレッジを開催(延べ参加者数:110人)

| KPI | 方向性 | 現状値 | 目標値 | 実績値 | | | |
|------------------|-----|----------------|----------------|-------|-------|-------|-------|
| | | (H26) | (H31) | H27 | H28 | H29 | H30 |
| 女性の就業率 | | 38.7% (H27) | 39.6% (H32) | 38.7% | - | - | - |
| 川西市役所における女性職員の割合 | | 36.6% | 40.0% | 37.9% | 39.4% | 40.5% | 41.3% |

[今後の課題及び方向性]

<具体的施策の展開 >
 コワーキングスペースの設置に向けた取組みと連携
 民間事業者と連携した設置の検討

仕事と育児の両立ができる環境の確保
 ファミリーサポートセンター事業の積極的PRによる会員数の確保
 公立留守家庭児童育成クラブの受入可能人数の見直しや、民間留守家庭児童育成クラブの新設・補助の拡充を行い、待機児童を解消

<具体的施策の展開 >
 女性の新たなライフスタイルの確立に向けた継続的な支援
 生き方や働き方などを学ぶ講座の開催による女性の新たなライフスタイルの確立に向けた継続的な取組みの実施

基本目標3 地域のきずなを深め多世代交流を促進する

< 基本的方向性 >

地域のきずなを深め、多世代交流を促進し、人口が減少する中でも、安定した活気ある地域づくりを展開します。

数値目標

| 指標 | 方向性 | 現状値 | 目標値 | 実績値 | | | |
|--------|-----------------------------|----------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | (H26) | (H31) | H27 | H28 | H29 | H30 |
| 数値目標 | 自治会やコミュニティの活動に参加している市民の割合 | 38.0% | 41.0% | 39.2% | 37.1% | 35.7% | 35.3% |
| | ボランティアやNPOなどの活動に参加している市民の割合 | 13.6% | 23.0% | 12.1% | 10.5% | 10.7% | 17.8% |
| | 自分が健康だと思っている65歳以上の市民の割合 | 72.4% (H27) | 83.0% | 72.4% | 68.0% | 70.5% | 77.6% |
| 幸せ実感指標 | 地域の人と交流することで充実感を感じる市民の割合 | 52.3% (H27) | 57.0% | 52.3% | 57.0% | 56.2% | 56.3% |

具体的な施策の取組状況

施 策 1 健幸づくりの推進
 <具体的施策の展開>
 ・健幸マイレージ制度の充実など、老若男女問わず、日頃から自身の健康を意識しつつ、幸せを実感できる健幸まちづくりに向けた取組みを展開します。

【平成30年度の主な取組内容及び成果】

健幸マイレージについて、新潟県見附市、千葉県白子町と広域連携し、特別目的事業体と成果報酬型の契約をかわし、新たな参加者925人を加え約2,900人で実施

Let'sきんたくん健幸体操を総合体育館及び市民体育館で実施(参加者数:21回718人)

きんたくん健幸体操の普及啓発の推進に向けて、きんたくん健幸体操リーダーを地域等へ派遣(派遣回数:15回)

公園での健康遊具の設置(5公園)

| KPI | 方向性 | 現状値 | 目標値 | 実績値 | | | |
|------------------------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | (H26) | (H31) | H27 | H28 | H29 | H30 |
| 健康づくりに意識的に取り組んでいる市民の割合 | | 70.4% | 73.8% | 71.4% | 69.9% | 67.6% | 73.5% |

【今後の課題及び方向性】

健幸まちづくりを進めるため、市民一人ひとりの健康意識に対する高揚啓発
 既存のマイレージ参加者の継続支援に資するための拠点の整備及び、今後も新規参加者募集を進めるために、参加年齢緩和を実施。また、更なる地域貢献に向けての、寄付制度の見直し

引き続き地元のニーズに対応して、公園で健康遊具を設置

具体的な施策の取組状況

施 策 2 自主的な地域づくり
 <具体的施策の展開>
 ・地域分権制度に基づくまちづくりを進め、コミュニティを中心とした地域づくり活動を積極的に支援します。

【平成30年度の主な取組内容及び成果】

14のコミュニティ組織に対して、自主的・主体的に取り組む地域活動に対する支援として、地域づくり一括交付金を交付
 コミュニティ組織が地域の大きな課題の解決にチャレンジする先駆的な事業に対し一括交付金を加算(交付金加算件数:12件)
 地域課題解決をサポートするため、地域担当職員・地域づくりアドバイザーによる支援を実施(支援実績:14地域、134件)
 コミュニティ組織が活動の拠点としている施設の維持管理や修繕等に対する支援を実施(支援件数:5件)
 コミュニティ組織の活動活性化に対する支援を実施(支援件数:1件)

| KPI | 方向性 | 現状値 | 目標値 | 実績値 | | | |
|---|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | (H26) | (H31) | H27 | H28 | H29 | H30 |
| 地域分権制度適用地域の主要な団体数 | | 249団体 | 379団体 | 260団体 | 342団体 | 376団体 | 379団体 |
| 自治会やコミュニティ、ボランティアやNPOの地域づくり活動によって、お互いに支え合っていると思う市民の割合 | | 52.9% | 60.0% | 51.3% | 48.4% | 46.2% | 51.0% |

【今後の課題及び方向性】

地域づくり活動の積極的支援のため地域の担い手不足の解消や自立的な事業展開に向けた対応
 各地域の課題に応じて、必要な支援をしっかりと見極め、地域の特性を生かせるよう柔軟な支援を実施

具体的な施策の取組状況

施 策 3 つながり支え合うまちづくり
 <具体的施策の展開>
 ・地域における障がい者(児)や高齢者などの居場所づくりの支援を進めるとともに、地域団体などの自主的な地域福祉活動や見守り体制の充実を図ります。

【平成30年度の主な取組内容及び成果】

- 障がい者(児)の地域生活を総合的に支援する体制のさらなる充実
 川西市障がい者自立支援協議会の専門部会において基幹相談支援センターの設置検討に向けて事業所から意見を収集
- 認知症カフェネットワーク会議の開催(年4回)
- 認知症地域支援推進員による認知症チェックシートの活用と対象者への支援の実施
- 川西市認知症みまもり登録をしている人(68人)のうち希望者に対して靴用ステッカーを配布(配布人数24人)
- 川西行方不明者SOSネット(メール配信システム)の開設
 「川西市見守り協力事業者ネットワーク事業」について新たな事業者と協定締結(新規1事業者)

| KPI | 方向性 | 現状値 | 目標値 | 実績値 | | | |
|--|-----|----------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| | | (H26) | (H31) | H27 | H28 | H29 | H30 |
| 「地域で高齢者や障がい者・児童等を見守り、支援する仕組みができてい」と思う市民の割合 | | 28.5% (H29) | 33.1% | 29.7% | 34.2% | 28.5% | 32.5% |
| 認知症カフェの数 | | 1箇所 | 8箇所 | 8箇所 | 9箇所 | 10箇所 | 10箇所 |
| 認知症サポーターの人数 | | 11,389人 | 26,860人 | 14,366人 | 17,860人 | 20,513人 | 23,755人 |

【今後の課題及び方向性】

- 障がい者(児)の地域生活を総合的に支援する体制のさらなる充実
 引き続き川西市障がい者自立支援協議会の専門部会において事業所から集約した意見を基に基幹相談支援センターの機能、取り扱う業務、設置方法など議論し、方向性をまとめる。
- 川西行方不明者SOSネット(メール配信システム)の普及
 市民への周知を行い、協力者(メール配信システムへの登録者)を拡充
- 潜在的な認知症患者の早期発見
 高齢者が自己チェックできるように、特定健診の案内に認知症チェックシートを同封
- 地域における見守り体制の充実
 「川西市見守り協力事業者ネットワーク事業」についての周知・協定先事業者の拡充

| | |
|-------|---------------------|
| 基本目標4 | 新たな雇用とまちの賑わいの創出をめざす |
|-------|---------------------|

< 基本的方向性 >

本市の特徴を踏まえた新たな働き方の創出を模索するとともに、新たな雇用とまちの賑わいの創出をめざします。

数値目標

| 指標 | | 方向性 | 現状値 | 目標値 | 実績値 | | | |
|--------|----------------|-----|----------------|----------------|-------|-------|-------|-------|
| | | | (H26) | (H31) | H27 | H28 | H29 | H30 |
| 数値目標 | 市内事業所数 | | 4,171事業所 | 4,200事業所 | - | - | - | - |
| | 市内就業率 | | 47.4% (H22) | 50.0% (H32) | 47.4% | - | - | - |
| 幸せ実感指標 | 仕事に充実感がある市民の割合 | | 79.7% (H27) | 85.0% | - | 84.0% | 80.4% | 74.2% |

具体的な施策の取組状況

| | |
|-------|--|
| 施 策 1 | <p>就労支援の充実</p> <p><具体的施策の展開> 若者キャリアサポートセンター川西における就職支援セミナーの活用を促進し、若年層の就労支援の充実を図ります。 家に居ながらも仕事ができるテレワークのマッチング事業を展開します。</p> |
|-------|--|

[平成30年度の主な取組内容及び成果]

<具体的施策の展開 >
 川西しごと・サポートセンター内に就労体験コーディネーター(キャリア・コンサルタント)1名を配置

ハローワークとの連携により市内外(基本的には近隣)の求人情報の提供を受け、受入事業所を開拓(実績:40事業所)

市内在住の39歳以下の未就職者を対象に、受入事業所での就労体験を経て、就労に結び付ける事業の実施(体験参加人数:19人、内定者:17人)

<具体的施策の展開 >
 多様な形での就労を支援するため、様々な形態のセミナーを実施

- ・入門セミナー(参加者数:36名)...先輩ワーカーによるパネルディスカッション、在宅ワーク体験
- ・実践講座STEP1(参加者数:45名)...在宅ワークの基本に関する動画配信
- ・実践講座STEP2(参加者数:26名)...サテライト講座・オンラインサポート

| KPI | 方向性 | 現状値 | 目標値 | 実績値 | | | |
|-----------------------|-----|--------|--------|--------|------|--------|--------|
| | | (H26) | (H31) | H27 | H28 | H29 | H30 |
| 川西しごと・サポートセンターの年間就職件数 | | 1,003件 | 1,050件 | 1,003件 | 958件 | 1,004件 | 1,036件 |

[今後の課題及び方向性]

<具体的施策の展開 >
 就労支援の成果拡大に向けた制度利用者の確保
 広報等による制度の周知の徹底

<具体的施策の展開 >
 コワーキングスペースの設置に向けた取組みと連携
 民間事業者と連携した設置の検討

具体的な施策の取組状況

新たな仕事と雇用の創出

<具体的施策の展開>
 新たな仕事と雇用を創出する事業に対し、提案公募型地域経済活性化事業補助や新商品開発補助を行い、事業主を支援します。
 新たな交通の玄関口となる新名神高速道路(仮称)川西インターチェンジを活用し、新たな仕事と雇用の創出を図ります。
 家に居ながらも仕事ができるテレワークのマッチング事業を展開します。
 女性・シニア世代の起業への支援を行います。

【平成30年度の主な取組内容及び成果】

<具体的施策の展開 >

制度の周知を行い、事業者の新たなチャレンジの後押しを図った。申請はあったが、補助対象外となり、新事業・新商品の実現までは至らず。

- ・提案公募型地域経済活性化事業補助金制度(申請件数:1件)
- ・新商品開発等事業者補助金制度(申請件数:1件)

<具体的施策の展開 >

魅力発信拠点の整備に向け、土地所有者や民間事業者と調整

<具体的施策の展開 >

- 多様な形での就労を支援するため、様々な形態のセミナーを実施
- ・入門セミナー(参加者数:36名)...先輩ワーカーによるパネルディスカッション、在宅ワーク体験
 - ・実践講座STEP1(参加者数:45名)...在宅ワークの基本に関する動画配信
 - ・実践講座STEP2(参加者数:26名)...サテライト講座・オンラインサポート

<具体的施策の展開 >

- 女性の起業しやすい環境を創出するため、様々な起業段階に合わせた川西女性起業塾を実施
- ・プレセミナー(1回、11名参加)
 - ・ファーストステップセミナー(2回、22名参加)
 - ・ベーシックセミナー(年7回(3時間/1回)、15名参加)
 - ・ステップアップセミナー(年3回(2時間/1回)、19名参加)
 - ・女性起業塾1期生との交流会の実施(年1回、11名参加)
 - ・創業関連情報の発信

次年度に向けたニーズを図るため、フォローアップ調査を実施

| KPI | 方向性 | 現状値 | 目標値 | 実績値 | | | |
|---|-----|----------------|----------------|-------|-------|-------|-------|
| | | (H26) | (H31) | H27 | H28 | H29 | H30 |
| 有効求人倍率() 伊丹ハローワーク管内 (伊丹市・猪名川町・川西市) | | 0.65倍 | 0.70倍 | 0.59倍 | 0.73倍 | 0.78倍 | 0.83倍 |
| 女性の就業率 | | 38.7% (H27) | 39.6% (H32) | 38.7% | - | - | - |

[今後の課題及び方向性]

<具体的施策の展開 >

制度の見直し
事業者ニーズの分析

<具体的施策の展開 >

まちの賑わいの創出につながる土地利用に向けた調整
所有者の意向や開発条件等を踏まえ、最適な土地利用の検討

<具体的施策の展開 >

コワーキングスペースの設置に向けた取り組みと連携
民間事業者と連携した設置の検討

<具体的施策の展開 >

起業支援に係る多様なニーズへのきめ細やかな対応
要望の多かった個別面談を複数回取り入れ、起業に対する悩みや不安の解消を図る
先輩起業家を巻き込んだ発表会型の交流会を実施することで、起業に向けた新たな繋がりを創出
起業家が必要とするスキル向上セミナーの実施

具体的な施策の取組状況

| | |
|-------|--|
| 施 策 3 | <p>産業の活性化</p> <p><具体的施策の展開> 商工会との連携を強化し、産業構造の特性を踏まえた新たな展開など産業の活性化に向けた取組みを進めます。 都市農業という本市の特徴を活かし、地産地消による販路の拡大などの取組みを進めます。</p> |
|-------|--|

【平成30年度の主な取組内容及び成果】

<具体的施策の展開 >

市が産業競争力強化法に基づく創業支援事業計画の認定を受け、市や商工会等を通じて創業支援の提供を実施(実績:相談17回、セミナー参加23名)

<具体的施策の展開 >

- 川西の農林産物の魅力の紹介と需要拡大のためイベントを実施
 - ・特産物の即売会や品評会の開催(ハウス果菜品評会、桃の即売会、いちじくの品評即売会、農林産物品評会)
 - ・かわにしまるまるマルシェを年3回開催(9月は台風のため中止)

| KPI | 方向性 | 現状値 | 目標値 | 実績値 | | | |
|--------|-----|----------------|-------|-----|-----|-----|-----|
| | | (H26) | (H31) | H27 | H28 | H29 | H30 |
| 小売業店舗数 | | 864店舗 (H26) | 868店舗 | - | - | - | - |

【今後の課題及び方向性】

<具体的施策の展開 >

- 商工会等との連携の強化
 - 商工会等を通じて実施している各施策の継続
 - 特産品及び各種イベント等の積極的な情報発信
 - 商工会等と連携した市の補助制度の活用促進

<具体的施策の展開 >

- 川西市の産業構造の特性を踏まえた、地産地消による販路の拡大の取り組み
 - 農林産物品評即売会、いちじくの品評即売会など各種イベントで川西産の野菜や果樹の地産地消の推奨
 - マルシェ等のイベントで農業者の出会いの場の提供による販路の拡大